

NIE始まる！！

Newspaper

In 教育に新聞を

Education

9月からNIEの研究実践が始まります。NIEとはNewspaper In Educationの頭文字の略で、「教育に新聞を」という意味です。つまり、学校の教育活動で新聞を活用していこうという取り組みです。このNIEの研究実践指定を受けるのは、県内の特別支援学校では初！オンリーワンな取り組みです。具体的に何が始まるかというと、

- ① 茨城新聞をはじめ、朝日、毎日、読売、産経、日本経済、東京の各新聞が9月から3月まで学校に届きます。
- ② 生徒が自由に新聞を読める閲覧コーナーを設置します。
- ③ 授業や委員会活動、ホームルーム活動等に教材のひとつとして、新聞を活用していきます。
- ④ 新聞社から記者がゲストティーチャーとして来て、授業をしてくれます。
- ⑤ このNIE便りで、取り組みの様子や気になる記事を紹介していきます。などになります。せっかくの機会なのでたくさん新聞を読んでみましょう。

気になる記事コーナー1

第1回目の気になる記事コーナーは、左の記事です。「新川晴香??？」そうです。2, 3年生は良く知っている本校職員の新川の記事です。

新川先生は、現在、記事にもあるとおり、1年間の企業研修中で茨城新聞社で記者をしています。みんなの身近な人が、新聞で記事を書いている…。何だか不思議な感じがしますね。

記事では、スポーツ担当の記者として選手たちの頑張りに触れ、感動したことが書かれています。スポーツで感動するのは、記者も一緒なんですね。

新川記者の記事は、他にも生徒会室前の掲示板に、掲示してありますので、是非読んでみてください。

茨城新聞 8月27日(火)の記事

熱心な若者の姿に感動

教員の企業研修が始まり、運動部に配属され2カ月。特別支援学校教員の私が記者として取材を行う日々。ふとわれに返ると不思議な感覚だが、貴重な人生経験となっている▼7月は全国高校野球選手権茨城大会取材した。野球素人の私には

スポーツ記者 熱戦余聞
担当記者

緊張と不安が大きく夢にも出てくる毎日だったが、周りの先輩記者に支えられ乗り切ることができた▼青春そのものを体験する選手たちは感動を与えてくれた。控え選手やマネジャーも含め、若者が何かに没頭し、まい進する姿はなぜあんなに心動かされるのだろう。そうだ、そんな姿が大好きで教員になったのだ。スポーツを通し若かりし頃の初心を思い出した▼研修も折り返し地点。教育現場に戻ったら生徒にどんな話を聞かせようか。空想を膨らませつつ、今は目の前の心打たれる一瞬一瞬に全力で向き合おう。研修を全うしようと思つ。(新川晴香)

【運動部】 sports@ibaraki-np.co.jp